

兵庫協
会
西宮
芦屋

支部ニュース

No. 301

2011-12-15

発行
〒662-0074

兵庫県保険医協会
西宮市石劔町十八ー八
連絡先 兵庫県保険医協会

西宮・芦屋支部
大森内科医院内
電話 〇七八(三九三)一八〇一

第80回評議員会・臨時(決算)総会

設立三十周年の取り組みを報告

協会は11月20日、協会会議室で第80回評議員会を開催。文書発言を含め17人が発言し、情勢への意見や支部の取り組みなどが紹介された。当日は臨時(決算)総会、第34回共済制度委員会、山家悠紀夫氏(暮らしと経済研究室主宰)による特別講演「震災復興と社会保障の財源」も行われ、評議員42人、理事25人ら会員79人が参加した。評議員代理として支部設立30周年記念企画について発言した谷端美香先生(芦屋市・高橋歯科医院)の発言内容を掲載する。

西宮・芦屋支部は、本年11月に支部設立30周年を迎えました。その節目として、支部では実行委員会を立ち上げ、支部の設立にご尽力された先生方や、これまで支部の諸活動に関わっていただいた方々をお招きして、10月22日に「支部設立30周年記念のつどい」を開催いたしました。

当日は、西村喜子先生によるヴィオラ・ダ・ガンバの演奏の後、実行委員長の幸原久先生、支部長の大森公一先生からご挨拶をいただき、法貴憲先生、広川恵一先生の司会の下で会員交流を行いました。まず保険医クラブの時代から保険医活動に携わり、支部設立にも深く関与された森下敬司先生より、支部設立までのご苦労話や、設立後の多彩な活動について写真とともに振り返り、参加された方々とともに、改めて協会支部活動を強力に押し進めていく決意を確認いたしました。会場からも北井明先生、林田英隆先生、



評議員会では各支部評議員から熱心な報告がなされた

坂尾福光先生、伊賀幹二先生、柴田始宏先生などから支部に対する思いをそれぞれご発言いただきました。

記念講演では、「脳を知って脳を活かす」と題し、東京大学大学院薬学系研究科准教授の池谷裕二先生に、「脳のゆらぎ」の仕組みや、脳の反射力を鍛えることの大切さなどをお話しいただきました。私もはじめご参加いただきました。

その後開催した懇親会には、池内春樹理事長、講師の池谷先生や、本年支部総会で講演いただいた須磨水族園園長の亀崎直樹先生などにもご参加いただき、料理を囲みながら支部活動についてざくばらんに交流いたしました。

翌日の23日には会員と市民の「絆」を深めるため、加藤隆久副支部長(文化部長)の立案で、文化部と連携して「支部設立30周年記念いも掘り大会」を開催いたしました。小雨が降り出すあいにくのお天気でしたが、世話人、会員や会員医療機関のスタッフ、市民など60人が、泥まみれになりながらもいも掘りを楽しみました。掘ったお芋は先日行われた日常診療経験交流会で参加者の方々にもお配りしました。

また、西宮・芦屋支部では設立30周年を記念し、支部活動の活性化をはかるため、背中にロゴの入った記念ブルゾンを作成いたしました。通気性・撥水性が良く収納ポケットも多いため、救急・災害時はもちろん普段の往診の際などにも大変便利にお使いいただけるブルゾンです。協会事務局・スタッフの方にもご活用いただきたいと思

います。西宮・芦屋支部は、後半期も、多数の方々のご協力もいただき、交流を深めあいながら、今後も会員・メディカルスタッフの方々の多様な要求に応えた取り組みや、東日本大震災対策などに取り組んで参りたいと思



評議員会で発言する
谷端先生

支部設立 30 周年記念ブルゾン販売のお知らせ

西宮・芦屋支部では設立 30 周年を記念し、記念のブルゾンを作成いたしました。通気性・撥水性が良く収納用のポケットも充実しているため、救急時や災害時はもちろん、普段の往診の際などにも大変便利にお使いいただけるブルゾンとなっております。背中には「The Nishinomiya-Ashiya branch of Hyogo Medical Practitioners' Association (兵庫県保険医協会西宮・芦屋支部)」のロゴ入り。ぜひこの機会にお買い求めください!



	S	M	L	LL
着丈	63	65	67	69
肩幅	48	50	52	54
袖丈	58	60	62	63
胸廻	113	118	123	128

【会員特別価格】 6,000円 (税込、送料別途)

お申し込みは協会事務局 078-393-1803 まで

世話人会だより

西宮・芦屋支部は11月25日に西宮医療会館で世話人会を開催。8人が参加した。

【報告】

① 英語で診療#31 (11・18)

【予定・企画】

① 第28回在宅医療研究会 (11・26)

② 第10回胸部X・P読影会 (12・2)

③ 第27回漢方研究会 (12・3)

④ 会員忘年会 (12・29)

⑤ 2012年診療報酬改定・介護報酬改定研究会 (3・22)

⑥ 財政と医療制度の勉強会

⑦ iPad・iPod・iPhoneとパソコン

Network

⑧ 英語で診療#32

※世話人会の日程は毎月第4金曜日です(本年12月は休会)。支部についてのご意見や企画案などをお寄せください。

Medical English #31

CKDと血尿の症例を流暢な英文で

11月18日、西宮フレンテ練習室で、「CKD & Hematuria (慢性腎臓病と血尿)」をテーマに、Medical English #31を開催。Robert Conroy氏が講師、坂尾福光先生(西宮市・ビューハイッククリニック)が司会を務め、医師・メディカルスタッフら15人が参加した。アドバイザーを務めた西宮市・結城泌尿器科の結城清之先生の感想文を掲載する。



講師の Robert Conroy 氏



一人ひとりに丁寧な発音指導がなされた

慢性腎臓病 (CKD) は人口の高齢化や飽食、メタボの増加などにより最近注目されています。特に腎機能低下が著明になると、腎臓の代替治療として血液透析にいたる患者が年間1万人以上と増加し、血液透析のために巨額の医療費が費やされています。そのため慢性腎臓病を

早期に見つけて、早い段階から対処すべきです。腎機能は糸球体ろ過率 (GFR) 60 ml/分が基準とされ、15 ml/分以下では透析療法の対象となります。症例は血液透析導入が考えられましたが、食事療法で小康を得ています。

血尿の症例は、無症候性肉眼的血尿が突然出現した患者さんで、止血剤投与にて一時的に血尿は消失しました。しかし、血塊が原因で排尿障害となり、いわゆる膀胱タンプナーデで内科から紹介されてきました。排泄性腎盂撮影では左腎からの造影剤が排泄されていません。検査の結果、左腎腫瘍と診断しました。

以上のCKDと血尿の症例について坂尾先生とコンロイ先生が流暢な英文に訳して下さり、丁寧に発音指導もされました。私は普段ほとんど英会話の機会がなく、うまく舌が回りませんでした。参加されていたメディカルスタッフのみなさまは熱心に英会話に取り組み、90分があつという間に過ぎました。

【西宮市・結城泌尿器科 結城清之】

第28回在宅医療研究会

高齢者の食と口腔ケア実践的に学習

11月26日、第28回在宅医療研究会を開催。武庫川女子大学生活環境学部食物栄養学科准教授の谷野永和先生と、西宮市・ナチュラルスマイル会西宮北口歯科院長の児玉秀樹先生を講師に迎え、医師・歯科医師・看護師・歯科衛生士・ヘルパーら30人が参加した。



講師を務めた谷野先生 (右) と児玉先生 (左)

谷野先生は「ひとり暮らし高齢者の食生活と身体計測値」と題して、2009年と10年に市内N地区の70歳以上のひとり暮らし高齢者1342人を対象に行つたBMI計測値、食生活環境・調理状況などの調査研究について発表。買物・外食・電子レンジ調理など、ひとり暮らし高齢者の食に関する実情を紹介した。また、「ふれあい健康手帳」「ふれあい昼食会」を通して分析された筋肉量や骨密度などの年齢別身体計測値の変化や、高齢者が「食べること」の意欲・調理・喫食を支援していく必要などが述べられた。

児玉先生は「口腔ケアのいるのは“い”と題して講演。自身が行っている在宅訪問歯科の経験を生かし、歯周病菌連鎖を口腔内で食い止める必要性、口腔の汚れ対策、義歯洗浄の工夫、受動喫煙と歯科疾患の関係など、多面にわたって解説した。また、「吹きもどし」や「パイプ」などの玩具で口腔トレーニングする実習などを交え、楽しい学習となった。

フロアからは「医療・福祉職としては、ひとり暮らし高齢者の介護度も併せて調査してもらいたい」との要望が出されたほか、参加者からは「低栄養状態の高齢者が多く、過食よりも不足の方が問題であることがよく分かった」「独居高齢者(特

会員忘年会のご案内

日時：12月29日(木) 18時～

会場：『木曾路』西宮店

※阪神西宮駅から北東へ徒歩5分
JR西宮駅から西へ徒歩10分

定員：30人 先着順・事前申込制

会費：6,000円 ※当日徴収

お問い合わせは 事務局 岡林・山田・伊藤まで
Tel:078-393-1803 / Fax:078-393-1802

